

2022年1月7日

雑穀街道を FAO 世界農業遺産に登録しよう 趣意書・会則

雑穀街道普及会

関東山地南部の山梨県東部地域および隣接する神奈川県北部地域は、首都圏にありながらも過疎・高齢化が著しい典型的な農山村地域である。秩父多摩甲斐国立公園の周辺にあり、野生生物が豊かに生存している一方で、野生動物による食害は森林から農耕地に及んでもいる。また、耕作放棄地も拡大し、自然環境に適応して形成されてきた伝統的な山間地・里山での栽培植物の在来品種、農耕技術、それらの加工調理技術、さらに農耕儀礼など、伝統文化の継承が消滅・危急の時期を迎えている。特に、フンザと並び称された上野原市桐原地区は、穀菜食による世界的に知られた健康長寿村で、生物多様性に依拠した文化多様性も豊かに蓄積されてきた地域社会であった。しかし、この50年ほどで、生物多様性のみか、随伴する文化多様性までが過疎・高齢化の末期的状況により、著しく衰退傾向にあり、継承の危機に瀕している。したがって、山間地・里山における生物文化多様性保全の手法を継承して、野生生物と人間が共存、共生可能な生活技能を再創造することは、自然共生社会を構築するために最重要課題である。

地球環境変動、多くの自然災害や病虫害の拡大など、現代文明は危機的状態にある。人間社会を安定的に維持するためには、とりわけ食料安全保障が基盤であり、地域に適した在来作物の衰退を防ぎ、それら品種の保全・継承・普及に努める必要がある。

このような課題解決に向け自然共生社会を再構築するために、農山村地域の自然共生的な生活文化の基層（縄文文化の系譜、畑作伝統の温故）にある、栽培植物、雑穀、いも、野菜などの在来品種を保存継承するためのローカル・シードバンクを地域で共有する体制をすでに構築し始めている。さらに、自然共生してきた農山村社会で、栽培植物在来品種の栽培生産を維持、加工調理し、伝統食を活かしながら、新たな食品を開発して、地域経済を展開するように、生物文化多様性保全を確保する一般的手法を探求してきている（移行への知新、トランジション）。これまで40年余りの地道な成果の蓄積を発展させ、NPO法人、農業生産法人、自治体などが連携する雑穀街道協議会を組織して、FAO世界農業遺産「雑穀街道～農山村における生物文化多様性保全」の登録申請をめざす。

雑穀街道普及会 会則

1. 名称。本会は雑穀街道普及会（以下普及会）と称する。
2. 目的。関東山地南部地域農山村の小規模家族農耕によって伝承保全されてきた雑穀他の生物文化多様性を継承するための普及啓発活動を行い、あわせてFAO世界農業遺産に登録申請の準備をすることを目的とする。
3. 会員。個人会員、団体会員および賛助会員で構成する。会費は任意とする。

4. 事務所。山梨県小菅村、自然文化誌研究会／植物と人々の博物館に置く。

5. 普及会の活動。

1) 雑穀ほかの栽培植物在来品種の保存、普及、および生物文化多様性を中心とする伝統的知識体系、小規模家族農耕技術を学習、啓発する。

2) 関東山地南部地域の農山村において、都県境を越えて広域連携による秩父多摩甲斐国立公園周辺農山村の地域振興を図る。

3) これらをもって FAO 世界農業遺産に登録申請のための諸準備をする。

付則

本会則は、2021年1月31日に発効する。ただし、会則の追加修正は必要に応じて、会員の合意により行う。

連絡先：・・・・・・・・・・

事務担当幹事連絡先 木俣美樹男 eメール：kibi20kijin@yahoo.co.jp

事務所連絡先：非営利活動法人 自然文化誌研究会／植物と人々の博物館

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 3337-2

eメール：npo-inch@wine.plala.or.jp 電話：090-3334-5328

ホームページ：エコミュージアム日本村（トランジション小菅）

雑穀街道 <http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

参考：

FAO 世界農業遺産とは

目的： 伝統的な農業と、農業によって生まれ、維持されてきた、土地利用（農地やため池・水利施設などの灌漑）、技術、文化風習、風景、そしてそれを取り巻く生物多様性の保全を目的に、世界的に重要な地域を FAO（国際連合食糧農業機関）が認定するもので、持続可能な農業の実践地域となる。

基本概念： FAO は食糧危機を見据え農業の大規模化を推進し、緑の革命の考え方をうけ品種改良や肥料を大量に用いることでの生産性・収穫量の向上を是としてきた。その結果、一部の地域では環境破壊や企業参入による農業の工業化と寡占といった問題が生じてしまった。その反省を踏まえ、農業の原点を再確認し、農業就労者の減少と高齢化という問題も交えて考えていこうという取り組みが農業遺産の基本姿勢である。

農業遺産は伝統的な農業手法の伝承（無形財産）とそれを行う農地や周辺環境（文化的環境・環境財）の保護を目的とし、農業遺産認定ブランドとして産物売り出す遺産の商品化も認めている。

FAO は WFP（国際連合世界食糧計画）や UNEP（国際連合環境計画）そしてユネスコ（国際連合教育科学文化機関）などと、農業遺産を中心に農業・環境・食について連携を深めてお

り、民間運動との相互補完も視野に入れている。一例として、公的なものとしては創造都市ネットワークの食部門、民間ではスローシティ運動や世界で最も美しい村運動、身土不二運動などがあげられる。さらに、現在は、国連家族農業の10年や国際雑穀年2023が実施、提唱されているところである。

日本農業遺産： 農水省は独自に日本農業遺産制度を始めた。日本では、現在も伝統的で多様な農林水産業が営まれ、美しい田園風景、伝統ある故郷、助け合いの農村文化が守り続けられています。農林水産省では、将来に受けつがれるべき伝統的な農林水産業システムを広く発掘し、その価値を評価するために、日本農業遺産を創設した。

2022年1月7日現在

幹事： <事務担当幹事> 木俣美樹男、宮本透、佐野守平、玉木陸斗、富澤太郎

アドバイザー：

木俣美樹男（東京学芸大学名誉教授・農学博士／民族植物学・環境学習原論）

安孫子昭二（立川市史編集委員・文学博士／縄文考古学）

藤村達人（相模原市農業委員／筑波大学名誉教授・理学博士／作物育種学、植物分子遺伝学）

会員： ABC 順 2022.1.7

安孫子昭二（東京都日野市）

土井利彦（愛媛県大洲市、地域振興）

伊能まゆ（ヴェトナム、ホーチミン市、Seed for Table）

木俣美樹男（東京都小金井市）

御園美保子（埼玉県所沢市、造園）

宮本幹江（愛媛県大洲市、地域振興）

宮本透（神奈川県相模原市、農家）

中川智（山梨県上野原市、農家）

西村俊（石川県、北陸先端科学技術大学院大学准教授、触媒化学専攻）

岡部良雄（山梨県丹波山村、農家）

大野康雄（岩手県、雑穀生産専攻）

佐野守平（埼玉県横瀬町、秩父まるごと博物館、雑穀自由学校）

玉木陸斗（神奈川県厚木市、芽ぐみれっと）

富澤太郎（山梨市上野原市、農家）

準備会賛同者： 順不同

亀井雄次（山梨県小菅村、エコミュージアム日本村(トランジション小菅)／ミュージアム研究会代表幹事）

中込卓男（東京都、特定非営利法人自然文化誌研究会代表理事）

中田無双（山梨県上野原市、北都留郡森林組合参事）

小山宮佳江（神奈川県相模原市、トランジション藤野）

岡部良雄 (山梨県丹波山村、農家)
木下稔 (山梨県小菅村、水産業)
木下善晴 (山梨県小菅村、農家)
中込貴芳 (東京都、特定非営利法人自然文化誌研究会副代表理事)
守屋秋子 (山梨県小菅村、農家)
中川智 (山梨県上野原市、農家)
宮本幹江 (愛媛県、時遊編集舎)
石坂真悟 (山梨県小菅村、多摩川源流大学)
川上香 (長野県)
宮内かおり (東京都)
井上典昭 (山梨県、ひばりが丘高校)
後藤浩成 (東京都リサイクル事業協会)
御園美保子 (埼玉県、まりっか農園たんぼ部)
倉田剛
渡辺隆一 (長野県、信州大学)
小林保 (兵庫県、ひょうごの在来種保存会)
小柳知代 (東京都、東京学芸大学)
長田洋美 (山梨県上野原市、NPO 法人さいはら)
橋本寿美子 (山梨県上野原市、びりゅう館)
内山歩 (山梨県上野原市、NPO 法人さいはら)
武原美智子 (山梨県上野原市、びりゅう館)
川口信光 (山梨県上野原市、農家)
川口奈緒美 (山梨県上野原市、農家)
嶋田俊平 (東京都、株式会社さとゆめ)
加藤三郎 (認定特定非営利法人環境文明 21 共同代表)
藤村コノエ (認定特定非営利法人環境文明 21 共同代表)
福田恵一 (東京都、公立中学校教員)
黒澤東江 (山梨県小菅村、管理栄養士)
西沢江美子 (埼玉県秩父市 秩父まるごと博物館 雑穀自由学校)
大野和興 (埼玉県秩父市 秩父まるごと博物館 雑穀自由学校)
鹿倉朋宏 (埼玉県深谷市 埼玉県立深谷はばたき特別支援学校長)
若林高子 (東京都小金井市、環境省環境アドバイザー)
設楽清和 (神奈川県相模原市、日本パーマカルチャーセンター)
中谷 亨 (埼玉県秩父市、秩父まるごと博物館 理事長)
町田 勝一 (埼玉県横瀬町役場 振興課)
若林想一郎 (埼玉県横瀬町町議会議員)
有賀美子
吉田俊郎 (トランジションタウン南阿蘇)

竹田貴大 (クボタ)
久保和穂
田原和彦 (DNP)
関誠 (東京都、公立中学校教師)
木下勉
河野翔一 (國學院大学生)
大西崇文 (神奈川県横浜市、公立中学校教員)
市丸由歩 (東京都、公立小学校教師)
千葉宏太郎 (神奈川県、公立高校教員)
西川至 (東京都小金井市、元小学校長)
村上伸哉 (山梨県小菅村)
長田容子 (山梨県上野原市西原)
島津 隆 (埼玉県立深谷はばたき特別支援学校教諭)
森 敏昭 (埼玉県立深谷はばたき特別支援学校教諭)

賛同団体：

特定非営利活動法人自然文化誌研究会／植物と人々の博物館

雑穀街道普及会 会員入会申込書

雑穀街道普及会に入会します。

会員種別： 1 個人会員 2 団体会員 3 賛助会員
(○で囲んでください。議決権は個人会員のみにあります。)

会費： 任意 _____ 円

入会日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名：

連絡先：〒

e-メール：
電話&FAX